

## NEWS RELEASE

会社名 株式会社 MORESCO  
代表者名 取締役社長 中野正徳  
(コード番号 5018 東証第二部)  
問合せ先 広報室長 田中真人  
TEL 078-303-9058

各 位

### 有機デバイス封止材用水分透過率測定装置を東京大学と共同開発

株式会社 MORESCO (本社：神戸市中央区 取締役社長：中野正徳) は、ホットメルト接着剤で培った高分子材料の合成・利用技術を応用して、有機デバイス用の高機能シール材・封止材の開発に取り組んでいます。この度、フレキシブル有機デバイス封止材用「水分透過率測定装置」を東京大学 (大学院理学系研究科 准教授：島田敏宏) 株式会社 T I (所在地：つくば市 代表取締役社長：高橋善和) と共同で開発しました。これにより、従来計測できなかった高感度の水分透過率の測定が短時間で可能となります。

有機電界発光素子、有機太陽電池などフレキシブル有機デバイスを製造するにあたって、水分や酸素は有機半導体を劣化させ寿命を著しく縮めることが知られています。そこで、素子を構成する基板やシール材には高性能の水蒸気バリア性を持つ材料を用いる必要がありますが、これまでのガスバリア性の評価装置は感度・測定時間の点で不十分であり、特に、測定時間が数日かかることから、材料や素子の開発や生産の管理に用いることは不可能でした。

今回、この問題を解決するため、東京大学、株式会社 T I と共同で開発に取り組み、現状で最も厳しいガスバリア性 ( $\sim 1 \times 10^{-6} \text{g/m}^2/\text{day}$ ) を要求する有機 E L にも対応できる感度を有し、数時間で測定が可能な世界初となる装置を開発しました。この高感度・短時間測定の実現には、大気圧下の試料空間と超高真空中の質量分析計の間で水蒸気を冷却トラップを介して受け渡すという新しい原理に基づいた方法を考案、採用しています。(特願 2009-093023)

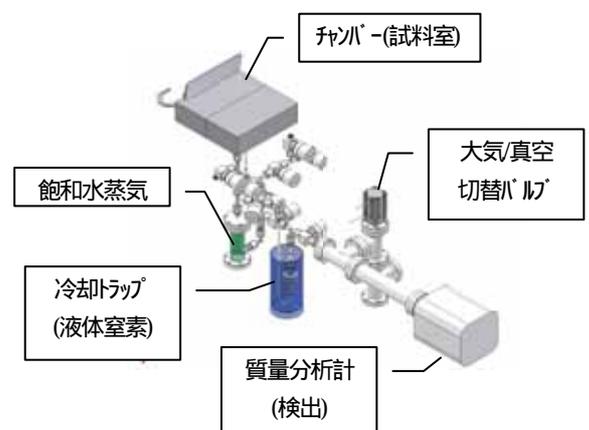
#### 特 徴

- 有機 E L で必要な  $1 \times 10^{-6} \text{g/m}^2/\text{day}$  が測定できる感度  
(従来の輸入装置の測定は  $4 \times 10^{-4} \text{g/m}^2/\text{day}$  が限度)
- 測定は数時間程度  
(短時間での繰り返し測定が可能)
- 試料フィルムのダメージが少なく、再現性の良い測定が可能

当社は、有機デバイス用の高機能封止材・シール材の開発と共に本装置の販売と本装置を用いた受託分析を行います。

#### 【記者会見予定】

主導機関：東京大学  
日時：2009年12月14日(月) 14:00-15:00  
場所：東京大学本郷キャンパス理学部1号館2階231号第4会議室  
問合せ先：東京大学大学院理学系研究科 准教授 島田敏宏  
TEL: 03-5841-7595



以上